



たてやま おらがんまつち

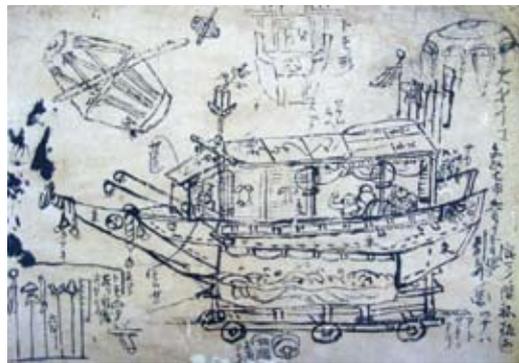


館山市柏崎地区

お船唄と 國司囃子



「安房の伝統芸能まつり」で披露された館山市無形民俗文化財お船歌と國司囃子



勝山調の「引舟の図」[文政7(1824)年]



船首彫り物



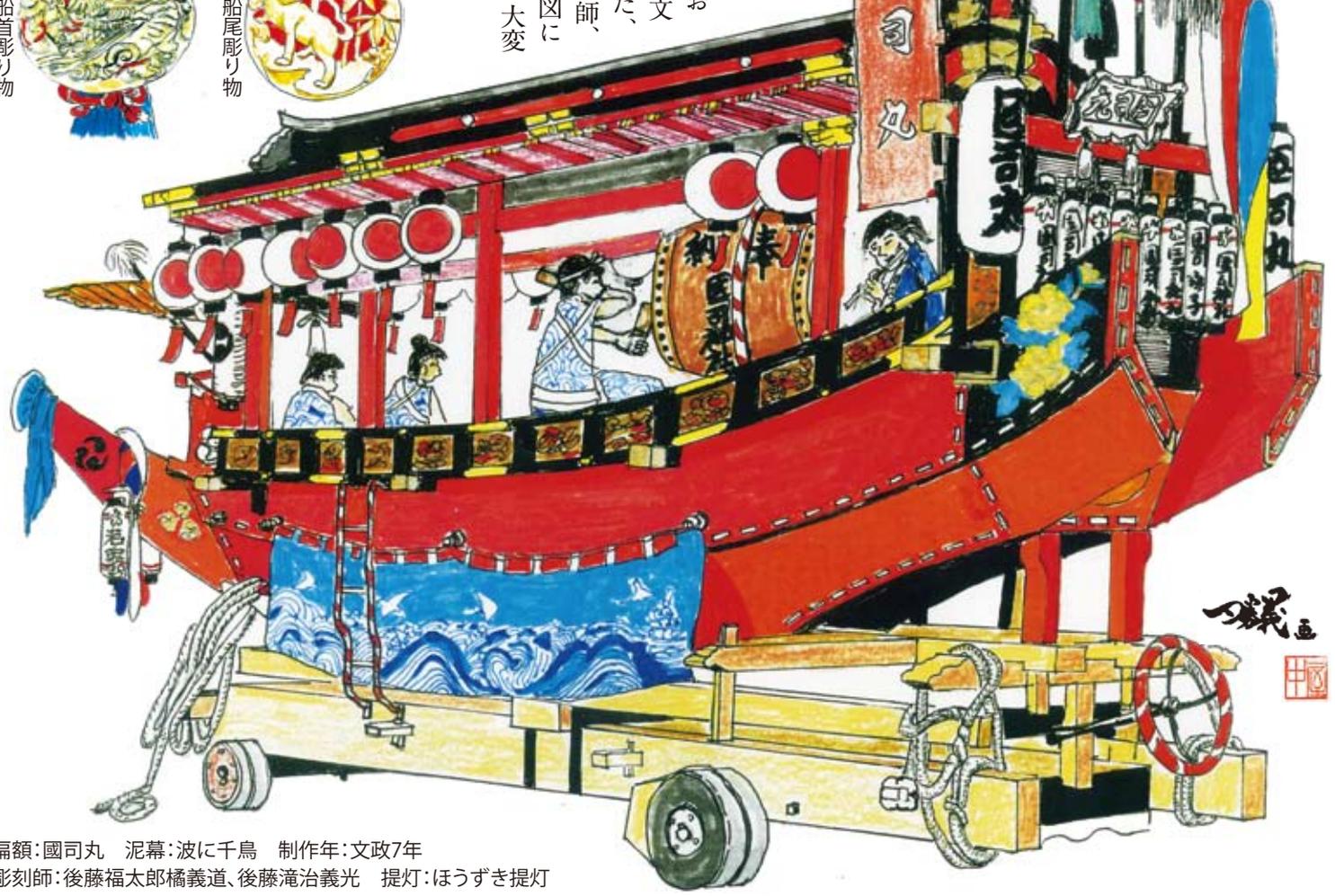
船尾彫り物

地域の紹介

古来から、沖ノ島と鷹ノ島から南の海岸線までは、館山の良港でした。冬場の西の強風や時化からの避泊、江戸に往来する船の風待や、積み荷の確認等で多くの船が入港し、多くの人々が海運に携わっていました。柏崎地区は今も古くからの商店が多く残り、地区住民全体の絆が強いところです。

自慢の御船 國司丸

館山地区の祭礼には、國司丸というお船を引き出します。左側の艫の支柱に文化十四(一八一七)年の墨書があり、また、文政七(一八二四)年には、館山・沼の絵師、勝山調の「引舟の図」が残されており、図にはカミシモを着た舵取が乗っています。大変古いお船です。



扁額:國司丸 泥幕:波に千鳥 制作年:文政7年
彫刻師:後藤福太郎橘義道、後藤滝治義光 提灯:ほうずき提灯